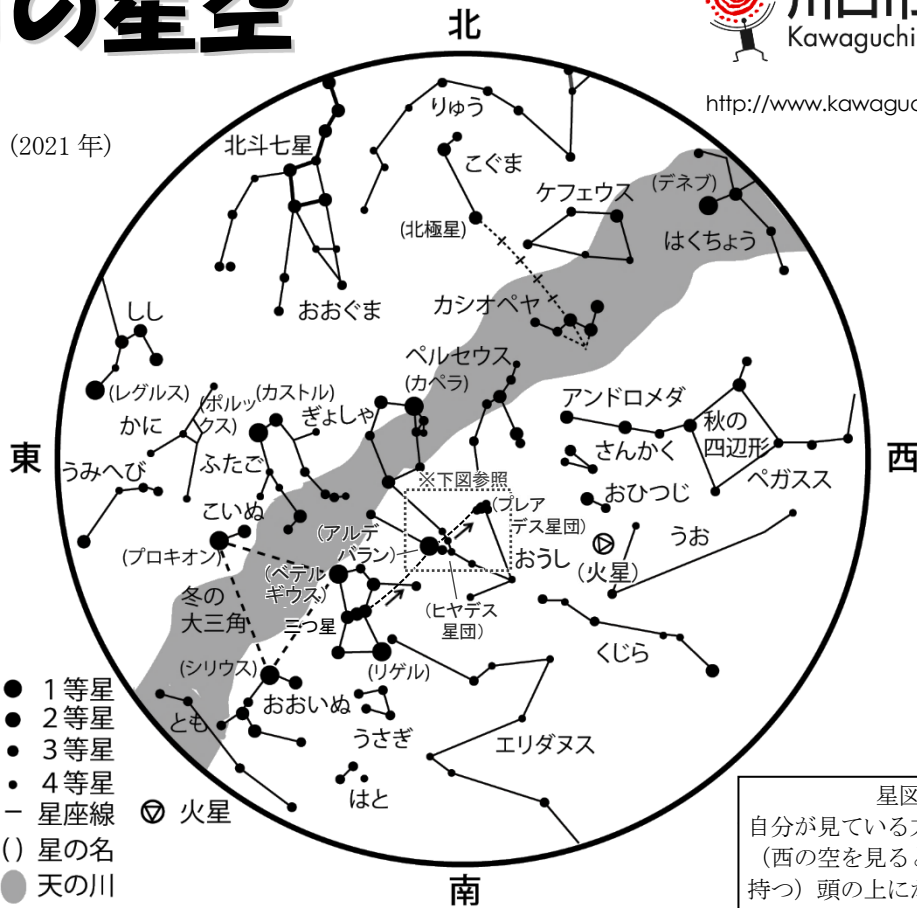


今月の星空

1月 (2021年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方向を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして
持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ● 下弦 6 日、● 新月 13 日、● 上弦 21 日、○ 満月 29 日

惑星情報

水星 夕方 西(やぎ座 -1→1 等)※下旬のみ 火星 夜のはじめ頃 南西(うお→おひつじ座 0 等)

★2021 年、丑(うし)年の星めぐりはおうし座から

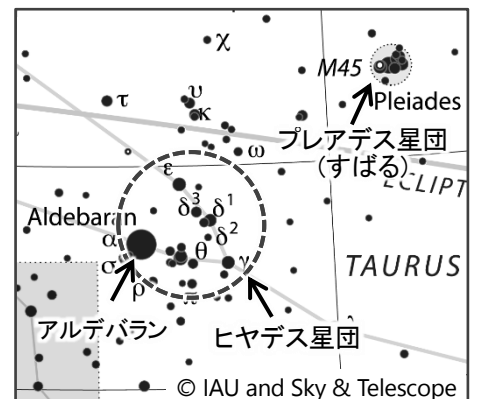
2020 年後半は火星接近(10 月)や木星と土星の大接近(12 月)があり、惑星に注目が集まりましたが、惑星たちの見ごろは過ぎ、これからの夜空の主役は冬の星座です。2 つの 1 等星や三つ星が目印のオリオン座は見つけやすく、その周囲にもぎょしゃ座やふたご座など 1 等星を持つ星座が多く、賑やかです。その中でもオリオン座と並び、興味深い天体が多くあるのがおうし座です。

おうし座のたどり方

オリオンの三つ星をつないだ線を上方へ延ばした先に 1 等星のアルデバラン、その先まで延ばすとプレアデス星団が見つかります。また、アルデバランから V 字に星が並ぶヒヤデス星団があります。

肉眼で見える二つの散開星団

プレアデス星団(距離 410 光年、星数約 130)とヒヤデス星団(距離 130 光年、星数約 40)は、不規則に星が集まる散開星団です。どちらも 4 等前後の星があるため、比較的空が暗いところであれば、肉眼でも星が群れる様子がわかります。プレアデス星団は、日本では「すばる」(統(す)べ集まるの意味)の他、「六連星(むつらぼし)」や「羽子板(はごいた)星」と呼ばれます。ヒヤデス星団は、V 字の形から釣鐘(つりがね)星とも呼ばれます。どちらも見た目の広がり(視直径)が大きく※、詳しく観察する場合は望遠鏡よりも低倍率で視野の広い双眼鏡がおすすめです。※プレアデス星団の視直径は約 100 分角(満月約 3 個分)、ヒヤデス星団は約 330 分角。



● 1 ● 2 ● 3 ● 4 ● 5 ● 6 (等級)

図 おうし座中心付近の星図(詳細)

散開星団~同じ星雲から生まれた兄弟星~ 散開星団は、ガスやチリからなる同一の星雲から誕生した年齢の近い「兄弟」のような星で構成されている。「プレアデス」も「ヒヤデス」もそれぞれギリシャ神話における巨人アトラスを父とする 7 人姉妹の呼び名であり、よくその性質を表した名称と言える。